

学会ニュース
2012 第 1 号

甲南大学経済学会

平成 24 年度 甲南大学経済学会 総会・前期講演会

1. 平成 24 年度 甲南大学経済学会 総会

《議題》

- (1) 平成 23 年度 活動報告
- (2) 平成 23 年度 決算報告
- (3) 平成 23 年度 会計監査報告
- (4) 平成 24 年度 評議員の選出
- (5) 平成 24 年度 監査委員の選出
- (6) 平成 24 年度 活動方針の提案
- (7) 平成 24 年度 予算案の決議



2. 砂村賢記念図書賞 表彰式

砂村賢記念図書賞は、1999年度から2002年度まで甲南大学経済学部で教鞭をとられた、故砂村賢教授の意志を受けて創設された賞であり、経済学部の成績優秀な4年次学生を表彰するものです。今年は3名の方が授賞されました。



3. 前期講演会

テーマ：「今、自分にできることは」

講師：垣内 俊哉（株式会社ミライロ代表取締役社長）

プロフィール

生まれつき「骨形成不全症」という骨が脆く折れやすいというハンディがあり、車いすでの生活を送っている。大学2回生の時に、自身の経験を元にバリアフリーマップ制作事業を立案。事業アイデアが多くのビジネスプランコンペに入賞し、国内で13の賞を受賞するなど評価を受ける。

株式会社ミライロ代表垣内俊哉さんの
講演会を聞いて

私は垣内俊哉氏の講演を聞き、改めて障害者に対する意識と時間について考えさせられた。まず、障害者に対して私たちは過剰に反応してしまっていたと思う。なぜならば、障害を持っている人はそれで普通に生活しているのだから、私たちが日常の生活で誰の介助なく生活しているように、彼らもそう生きたいと思っているのだから、どうしても必要な場合もあるが、垣内氏を見る限りでは、私たちは障害者に対して、そこまで過剰に反応する必要はないと感じた。

また、時間について私たちは何時間無駄な時間を過ごしたのだろうと改めて感じた。なぜなら、時間は有限だとあまり感じたことがなかったからだ。今回の講演で改めて時間の有限について考えさせられる講演だったと感じた。 (K.K)

株式会社ミライロ代表垣内俊哉さんの講演をお聞きして、バリアフリー化を進めることによるメリットや骨形成不全症という病気を抱えている立場からの人生や時間への考え方など、ふだん自分があまり考えないような視線から見た話だったのでとても魅力的な講演会でした。

株式会社ミライロは、垣内さんが立命館大学在学中に立ち上げた会社で骨形成不全症という骨が折れやすい病気のため車いす

生活をしている垣内さん自身の経験を生かして、大学や公共施設、テーマパークなどのバリアフリー化を進めるためのアドバイスを行ったり身体障害者に対する接客の仕方を伝える仕事を行っているそうです。垣内さんはハンディーギャップがあるにもかかわらず、学生時代に会社を立ち上げられ、もっと暮らしやすい社会にするという自分の目標に突き進んでいられるのには、車椅子生活の人には現状では暮らしやすい世の中ではないという事が伝わってきました。さらに、骨形成不全症という病を持って生まれ、いつどのようになるか分からないからこそ様々な事にチャレンジされ、毎日の価値を上げようと努力されていることが垣内さんの講演をお聞きし、伝わってきました。

私は普段の生活で、自分の残りの人生について考えることなどあまりありませんでしたが、自分の人生の時間の価値を考え、様々な事にチャレンジすることが大切だと思いました。 (S.I)

前期講演会で垣内さんのお話を拝聴させて頂いて、まず思ったことは時間の大切さでした。

人生は有限であるということはもちろん分かっていたつもりではあったんですが、改めて数字として自分がおおよそ生きられ

るであろう日数を示されたときに衝撃を受けました。自分が生きられる時間はなんて短いだろう…と思うと、更にその 1/3 は寝ているので、残った 2/3 しか生きられないのだと思うと、如何にして今ある時間を大切に生きるかについて考えさせられました。垣内さんの話ではないですが、大学についても、もし大学で授業の時間を寝ているのなら、それは学費を捨てている事と同じで、一つ一つの授業や時間に関してもっと大切に扱っていかないといけないし、これから気をつけていこうと思いました。また垣内さんは五体満足という訳ではないとは勝手ながら思っていたのですが、障害者や障害を持っているという言葉があまり好きではないという話を聞いて、また社会の

形としてのいわゆる障害を持っていると一般的に言われるような方々に対してあまりに関心か、過度に気を使いすぎているというお話を聞いて、自分達は気付かない事がやっぱりたくさんあるんだなあと感じさせられました。普段の生活、行動や何気ない色々な事が、僕とは違う目線の方々から見れば、嫌な気持ちや不快な気分させていたんだと思うと正直申し訳ない気持ちになりました。申し訳ないという言葉は大変失礼だと思うのですが、少しでも五体満足の僕のような人間が気持ちを理解できるようになれば色々と、変わっていきけるかなと思いました。多少、大多数の人間と異なる部分があっても、普通に接していくのが大事なのかなと思いました。(H.T)



【平成 23 年度 活動報告】

5 月	評議員会 平成 23 年度 甲南大学経済学会総会 前期講演会 講師：生田 武志 氏 （野宿者ネットワーク代表）
6 月	評議員会 経済学部ゼミ紹介 2011 年度学会ニュース第 1 号発行
7 月	評議員会
8 月	2011 年度学会ニュース第 2 号発行
9 月	評議員会
10 月	評議員会 後期講演会 講師：青木 豊彦氏（株式会社アオキ） 2011 年度学会ニュース第 3 号発行
11 月	評議員会 社会見学（灘菊酒造 大阪ガス・エネルギー館） 2011 年度学会ニュース第 4 号発行 2011 年度学会ニュース第 5 号発行
12 月	第 41 回インナーゼミナール大会 2011 年度学会ニュース第 6 号発行 評議員会 上島教授 在外研究報告会 2011 年度学会ニュース第 7 号発行
2 月	評議員会 2011 年度学会ニュース号外発行
3 月	評議員会 学生懸賞論文表彰式 卒業記念レセプション（神戸ベイシェラトン） 『甲南経済学論集 第 52 巻 第 1・2 号（255-256 合併号）』発行 『甲南経済学論集 第 52 巻 第 3・4 号（257-258 合併号）』発行 （小島修一教授退職記念号） 『経済学学生論集 第 43 巻（第 65 号）』発行
4 月	評議員会 新入生歓迎事業（時間割作成相談会、ペン・ファイルの配布など） 『経済学部入門のしおり 2012』発行

【平成 23 年度 実施事項・その他の活動】

- 甲南大学経済学会コモンルームおよびホームページの管理運営
- 資格試験（ERE 経済学検定試験）受験者に対する助成
- ゼミ合宿補助
- インナーゼミナール大会の運営改善

甲南大学経済学部編集

発行日 2012/08/20